

次の一歩へ「“顔晴る商工会”キャンペーン」推進中

●第121回(平成21年度第2回)●

# 中小企業景況調査報告書

栃木県商工会地区

平成21年 7月～ 9月・報告

平成21年10月～12月・予想



栃木県商工会連合会



# 目 次

	頁
1. 栃木県産業全体の景況概要	3
栃木県と全国の業況DI推移を比較 ・ 図1	
県内産業別の業況DI推移を比較 ・ ・ 図2	
2. 製造業の景況	4
主要景況項目の推移	・ ・ ・ 図3
売上額(加工高)の状況	・ ・ ・ 図4
採算(経常利益)の状況	・ ・ ・ 図5
設備投資の状況	・ ・ ・ 図6
経営上の問題点	・ ・ ・ 図7
3. 建設業の景況	7
主要景況項目の推移	・ ・ ・ 図8
売上額(完成工事高)の状況	・ ・ ・ 図9
採算(経常利益)の状況	・ ・ ・ 図10
設備投資の状況	・ ・ ・ 図11
経営上の問題点	・ ・ ・ 図12
4. 小売業の景況	10
主要景況項目の推移	・ ・ ・ 図13
売上額の状況	・ ・ ・ 図14
採算(経常利益)の状況	・ ・ ・ 図15
設備投資の状況	・ ・ ・ 図16
経営上の問題点	・ ・ ・ 図17
5. サービス業の景況	13
主要景況項目の推移	・ ・ ・ 図18
売上額(収入高)の状況	・ ・ ・ 図19
採算(経常利益)の状況	・ ・ ・ 図20
設備投資の状況	・ ・ ・ 図21
経営上の問題点	・ ・ ・ 図22
6. 調査対象事業所の内容	16

参考 中小企業基盤整備機構 第117回 中小企業景況調査 ニュースリリース	
[中小企業の業況判断DIの推移]	17

## ○DI指数とは

本文中やグラフ中に登場するDI値とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略であり、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合から減少(低下・悪化)企業割合を差し引いた値を示すものである。

例えば、売上額で増加企業が50%、不変企業が30%、減少企業が20%の場合、DI指数は $50 - 20 = 30$ となり、売上額に対して強気の度合いを表している。

## [ 調 査 要 領 ]

### ○調査の目的

中小企業景況調査は、全国の商工会地区に地域経済観測点を設置して、地域の産業の状況等地域の経済動向等について、一定時期ごとに変化の実態諸情報を収集、提供して、経営改善普及事業の実施に資するものとする。

本報告書は、栃木県内商工会地区における、「製造業」「建設業」「小売業」「サービス業」の業種を、主要景況項目（売上額・原材料仕入単価・採算・資金繰り）から分析し、景況情報をまとめたものである。

### ○調査対象地区

栃木県下の10商工会地区

にのみや・国分寺・大平町・岩舟町・塩谷町

高根沢町・那須烏山・那須町・佐野市あそ・足利市坂西

### ○調査対象

対象企業数：上記商工会地区の150企業（1商工会15企業）

回答企業数： 150企業（回答率100.0%）

### ○調査時点

平成21年9月1日

### ○調査対象期間

平成21年7月～9月期の実績及び、平成21年10月～12月期の見通しについて調査。

### ○調査方法

商工会の経営指導員による訪問調査。

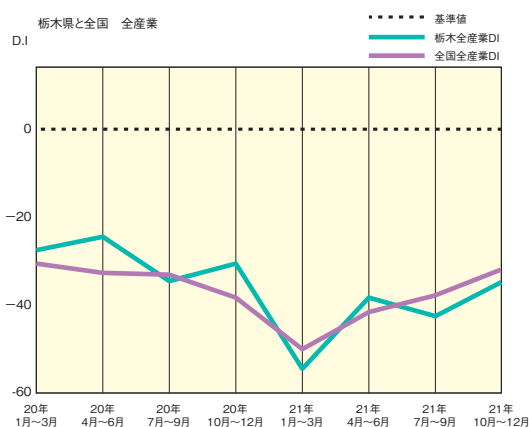
### ○回答企業数内訳

産 業	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	34	22.7
建 設 業	26	17.3
小 売 業	48	32.0
サ ー ビ ス 業	42	28.0
合 計	150	100.0%

# 1. 栃木県産業全体の景況概要

〈栃木県と全国の業況D I 推移を比較〉

「全国業況と比べ低下（マイナス幅が拡大）」（前期比季調済） 図 1



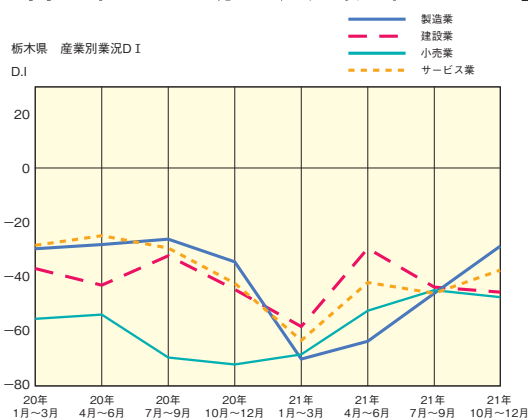
全国業況においては持ち直しの動きがみられるものの、栃木県内の業況は悪化しており、依然として厳しい状況が続いている。なお、栃木県内の業況D Iは、-43.6ポイントと前期（-38.9ポイント）と比べ4.7ポイント低下、全国業況（-43.4ポイント → -38.4ポイント）は、5.0ポイント上昇している。

来期見通し（10月～12月）では、全国業況および栃木県業況ともに、D I 値がやや上昇すると予想している。

※全国業況D Iは、独立行政法人中小企業基盤整備機構が公表するニュースリリースから、栃木県業況D Iは、商工会議所・中小企業団体中央会が実施する中小企業景況調査を含めた値を利用してグラフ化した。それぞれ調査時点は同日である。

〈県内産業別の業況D I 推移を比較〉

「製造業・小売業に持ち直しの動き、建設業が悪化」（前年同期比） 図 2



「製造業」前期比+18.7ポイント、「小売業」+10.6ポイント、2期連続で上昇（マイナス幅が縮小）し持ち直しの動きが見られる。一方、「建設業」では、前期比-10.3ポイント低下（マイナス幅が拡大）と業況は悪化している。また、「サービス業」は-2ポイントであった。

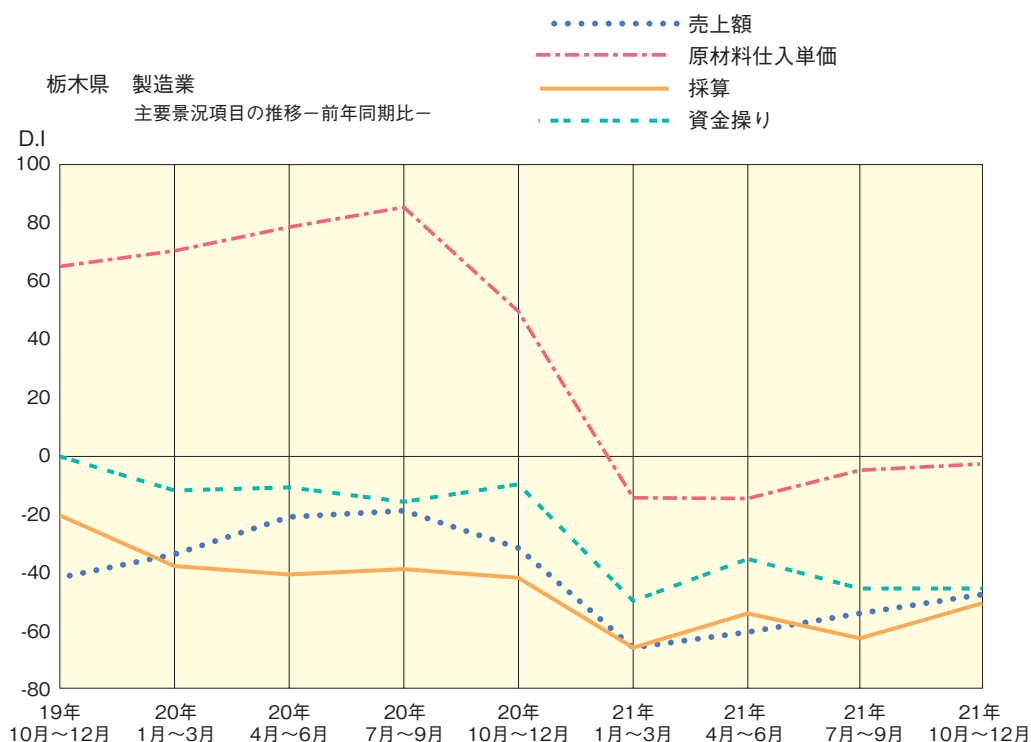
来期見通しでは、「製造業」が上昇、「サービス業」はやや上昇、「建設業」「小売業」はやや低下を予想している。

## 2. 製造業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額のD I 値がやや上昇（マイナス幅が縮小）」

製造業 主要項目の推移（前年同期比） 図3



「売上額(加工高)」は、前期比+4.8ポイントとややD I 値が上昇（マイナス幅が縮小）している。一方、「採算(経常利益)」-8.9ポイント、「資金繰り」-5.8ポイントD I 値が低下しており、需要は持ち直しの動きが見られるものの、厳しい受注条件であることが伺える。

来期見通し（D I 値）では「売上額(加工高)」、「採算(経常利益)」がやや上昇を予想している。

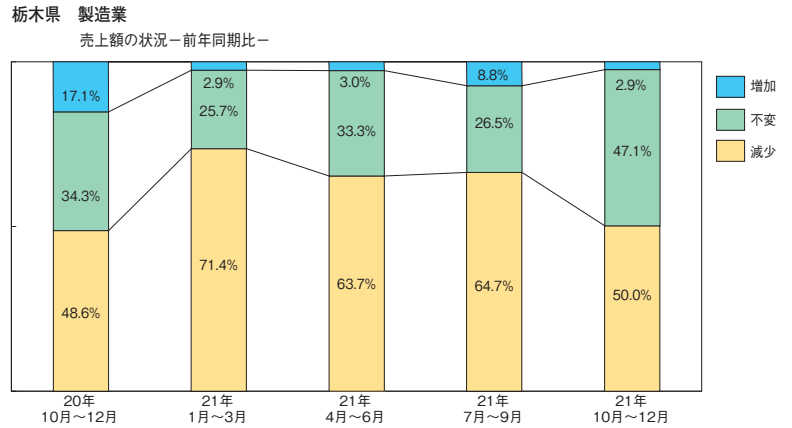
「原材料仕入単価」は-3.0ポイント低下すると予想している。

－売上額(加工高)－

売上額(加工高)の状況(前年同期比) 図4

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が64.7%、増加企業が8.8%で、D I 値は-55.9ポイントであった。売上増加企業が5.8% (3.0%→8.8%) 増えている。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業が減り(64.7%→50.0%)、D I 値は上昇し持ち直しの動きがみられるものの、売上増加企業は、減少し厳しい状況にある。

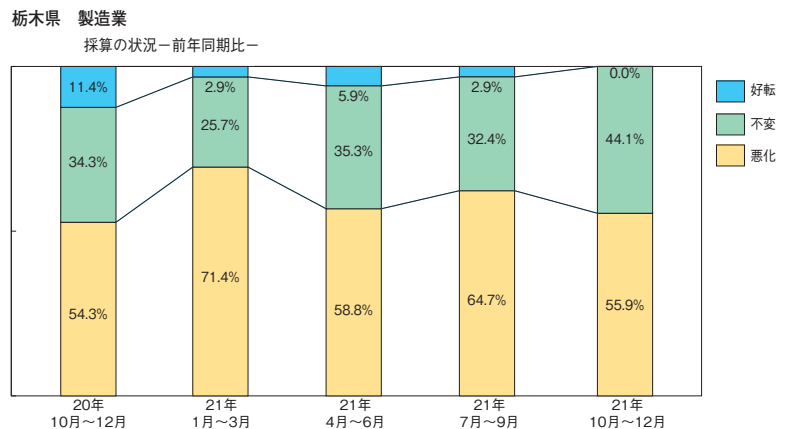


－採算(経常利益)－

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図5

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が64.7%、好転企業が2.9%で、D I 値は-61.8ポイントであった。前期と比べ、悪化企業が5.9%増加(58.8%→64.7%)した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が減ることにより(64.7%→55.9%)、D I 値は上昇(前期比+5.9ポイント)するとみている。

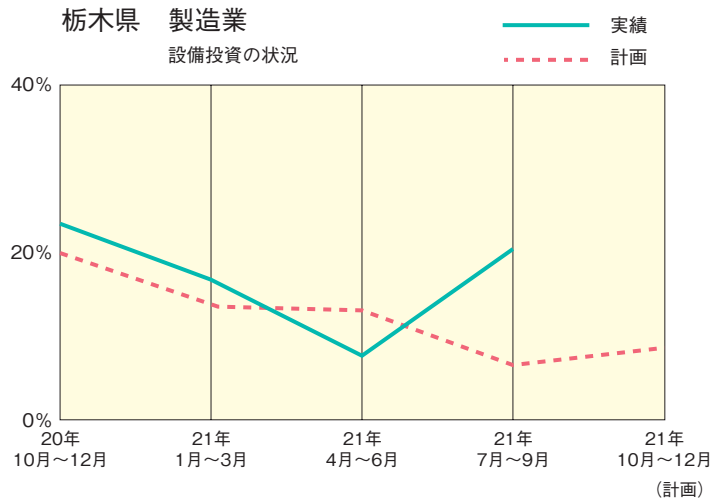


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図6

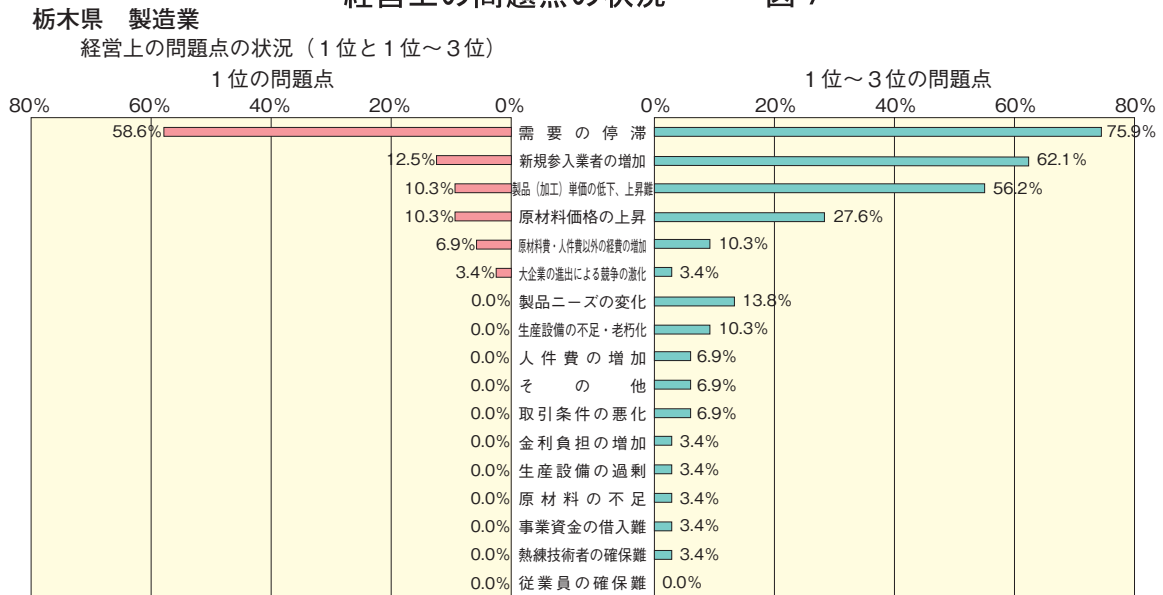
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合5.9%に対し、実績は20.6%であった。

来期に設備投資を計画している企業は8.8%である。



—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図7



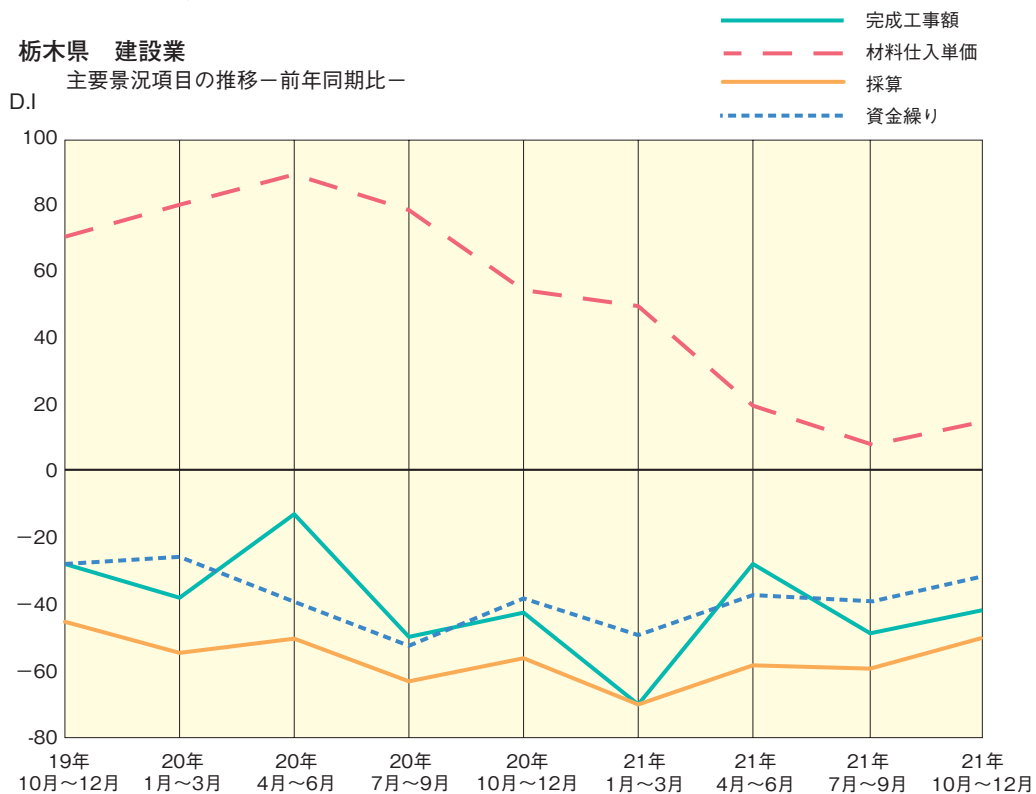
1位～3位の問題点を見ると、「需要の停滞」が最も多く、1位の問題点を見てもトップに挙げら58.6%となっている。そのほか「新規参入業者の増加、製品(加工)単価の低下、上昇難」が上位に挙げられている。

### 3. 建設業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額のD I 値が大幅に低下（マイナス幅が拡大）」

建設業 主要項目の推移（前年同期比） 図8



「売上額(完成工事額)」は前期比-26.1ポイントD I 値が大幅に低下した。また、「採算(経常利益)」は-1.7ポイント、「資金繰り」-2.5ポイント低下した。需要の低迷から非常に厳しい状況が伺える。

来期見通し(D I 値)では、「売上額(完成工事額)」「採算(経常利益)」「資金繰り」ともに上昇すると予想している。

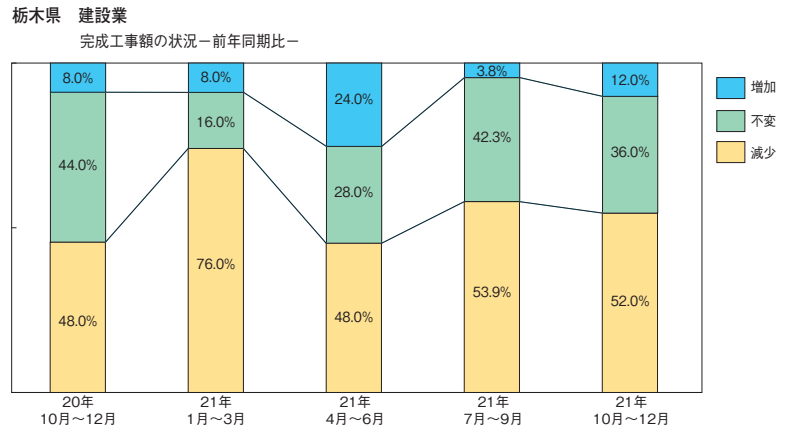
「原材料仕入単価」は-12.0ポイント低下し、来期見通しでは、上昇すると予想している。

—売上額(完成工事高)—

売上額(完成工事高)の状況(前年同期比) 図9

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が53.9%、増加企業が3.8%で、D I 値は-50.1ポイントであった。前期と比べ、-26.1ポイント低下した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業がやや減り(53.9%→52.0%)、売上増加と予想する企業は増える(3.8%→12.0%)ことから、D I 値は上昇するとみている。

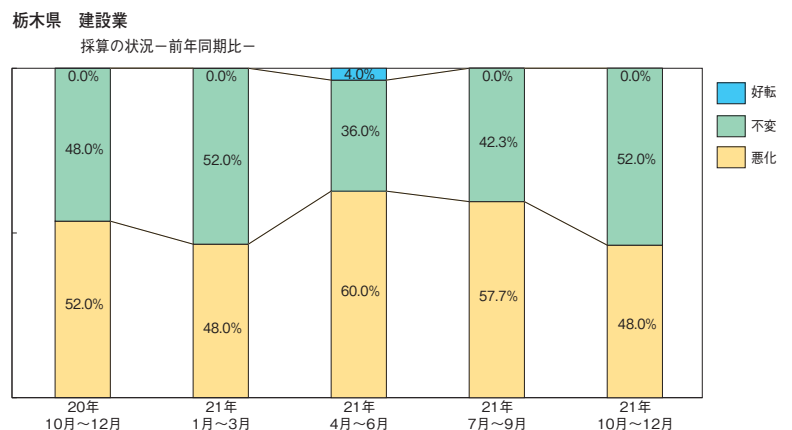


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図10

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が57.7%、好転企業が0.0%で、D I 値は-57.7ポイントであった。前期と比べ、-1.7ポイント低下した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が減ることにより(57.7%→48.0%)、D I 値は上昇(前期比+9.7ポイント)するとみているが、好転する企業は、2期連続0.0%の見込み。

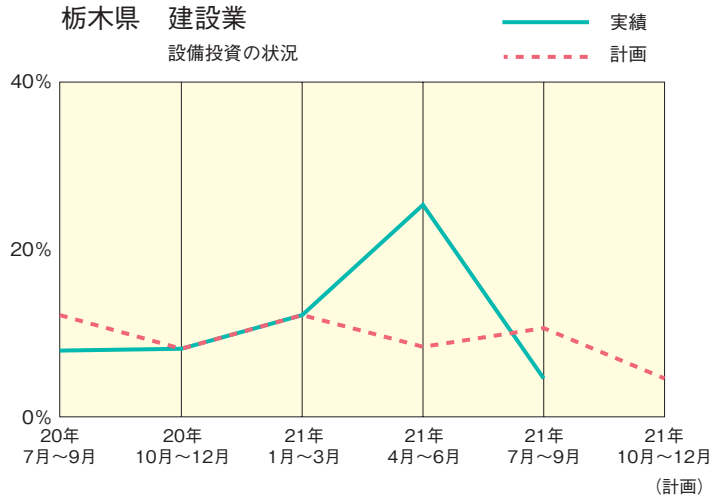


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図11

今期の設備投資の状況は、計画していた企業が11.5%、実績は3.8%であった。

来期に設備投資を計画している企業は3.8%である。

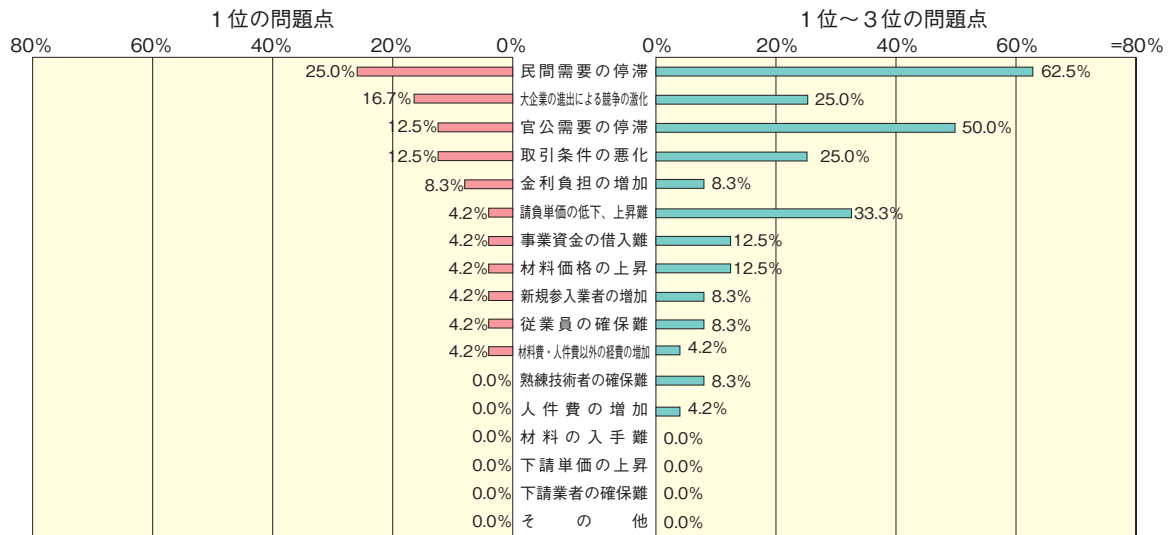


—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図12

栃木県 建設業

経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



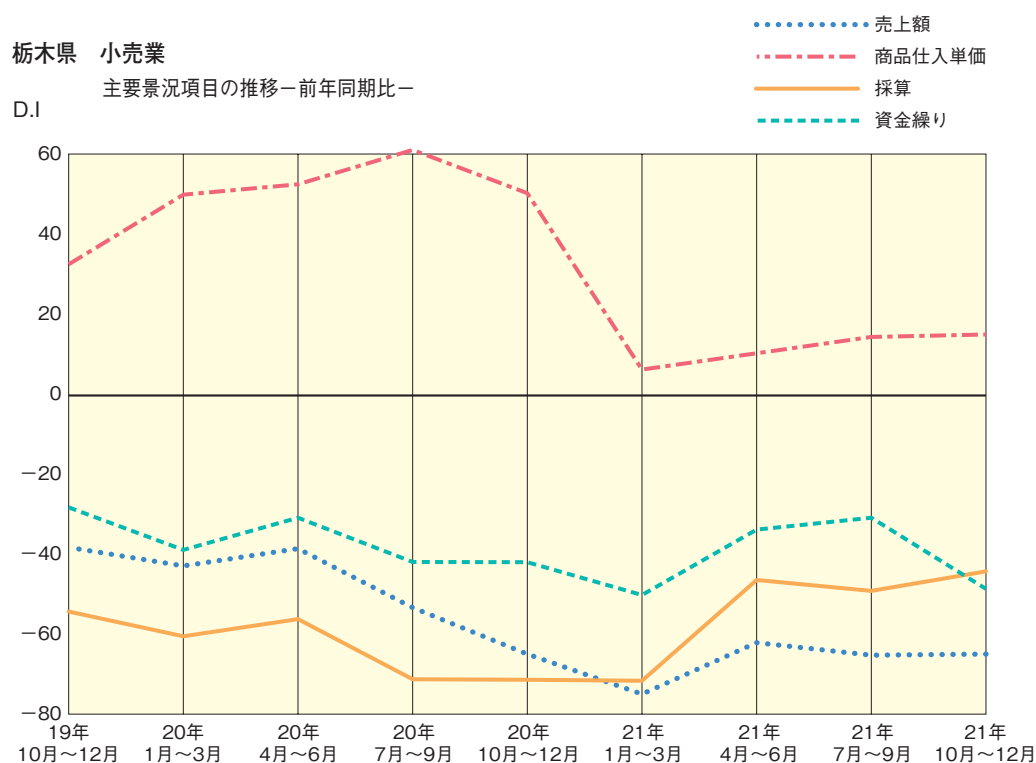
1位～3位の問題点を見ると、「民間需要の停滞」が最も多く、1位の問題点を見てもトップに挙げら25.0%となっている。そのほか「大企業の進出による競争の激化、官公需の停滞」が上位に挙げられている。

## 4. 小売業の景況

－主要景況項目の推移－

「売上額・採算のD I 値がやや低下（マイナス幅が拡大）」

小売業 主要項目の推移（前年同期比）図13



「売上額」は前期比-6.0ポイント、「採算(経常利益)」は-4.3ポイントD I 値が低下した。また、「資金繰り」はややD I 値が上昇(+1.5ポイント)した。

来期見通し(D I 値)では、「売上額」「資金繰り」は低下、「採算(経常利益)」はやや上昇すると予想している。

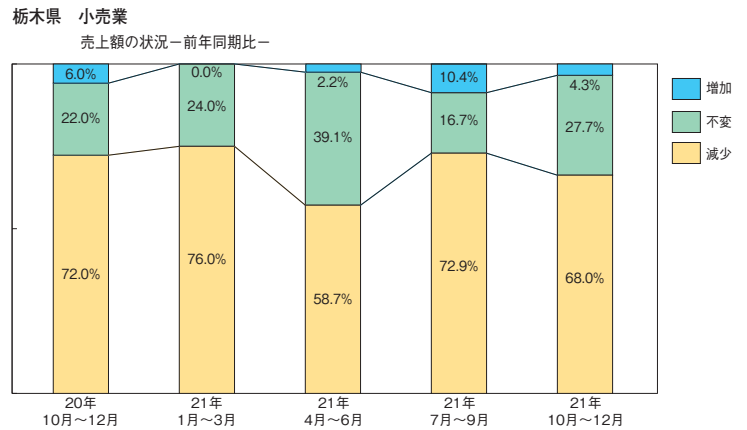
「商品仕入単価」は+3.8ポイント上昇し、来期見通しでは、やや上昇すると予想している。

—売上額—

売上額の状況（前年同期比）図14

今期D I 値の内訳を見ると、減少企業が72.9%、増加企業が10.4%で、D I 値は-62.5ポイントであった。前期と比べ、-6.0ポイント低下した。今期は、減少企業と増加企業がともに増え、2極化している。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業が減るが(72.9%→68.0%)、売上増加と予想する企業も減ることからD I 値は低下(前期比-1.2ポイント)とみている。

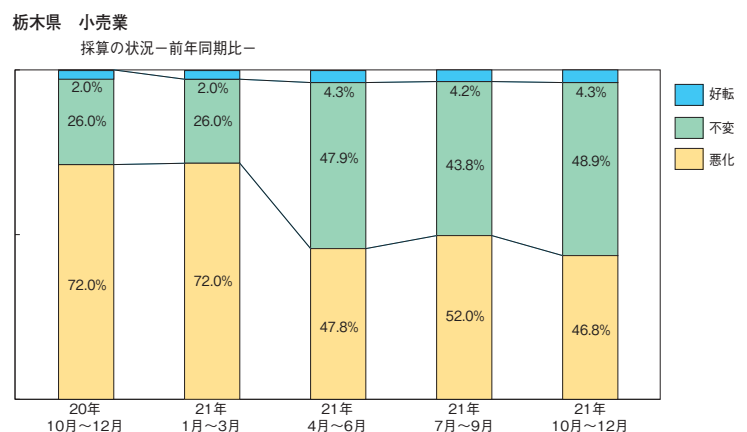


—採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況（前年同期比）図15

今期D I 値の内訳を見ると、悪化企業が52.0%、好転企業が4.2%で、D I 値は-47.8ポイントであった。前期と比べ、-4.3ポイント低下した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が減り(52.0%→46.8%)、D I 値はやや上昇(前期比+5.3ポイント)とみている。

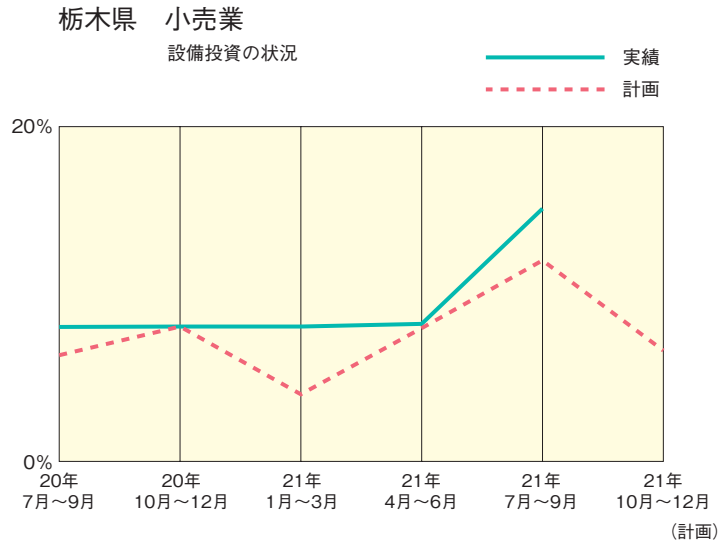


—設備投資の状況—

設備投資の状況 図16

今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合12.5%に対し、実施割合は16.7%であった。

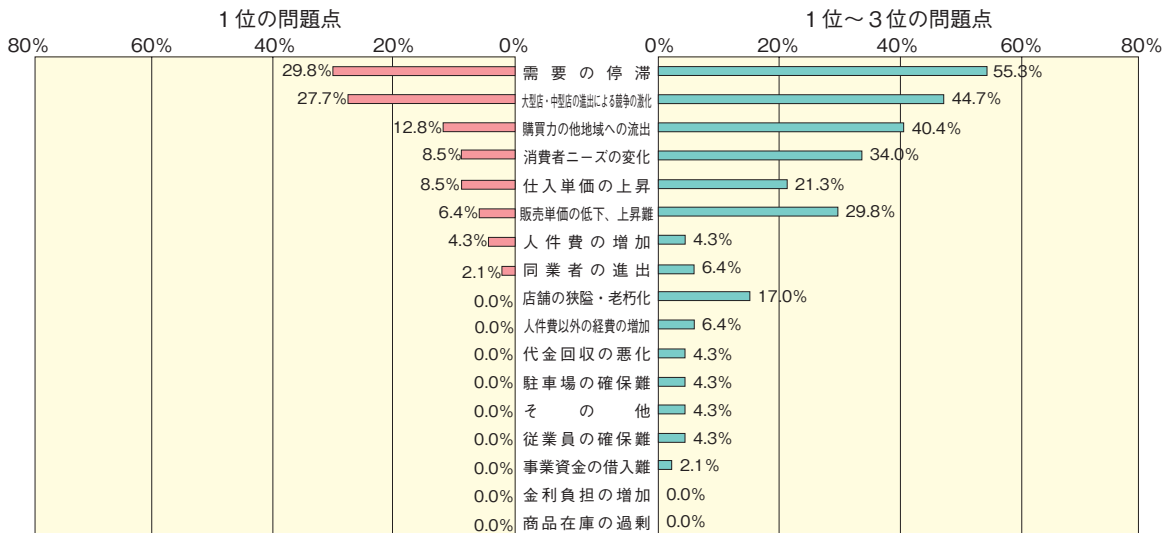
来期に設備投資を計画している企業は6.2%である。



—経営上の問題点—

経営上の問題点の状況 図17

栃木県 小売業  
経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)



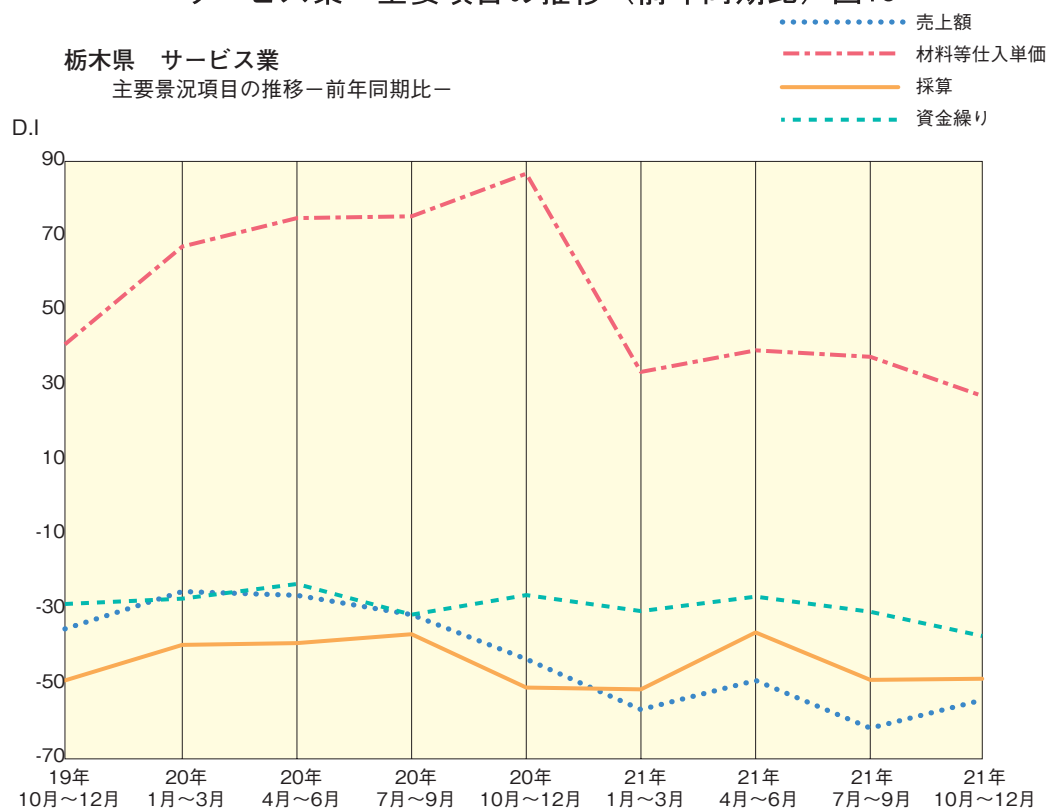
1位～3位の問題点を見ると、「需要の停滞」が最も多く、1位の問題点を見てもトップに挙げられ29.8%となっている。そのほか「大型店・中型店の進出による競争の激化、購買力の他地域への流出、消費者ニーズの変化」が続いている。

## 5. サービス業の景況

—主要景況項目の推移—

「売上額・採算・資金繰りのD I 値が低下（マイナス幅が拡大）」

サービス業 主要項目の推移（前年同期比）図18



「売上額(収入高)」は前期比-12.0ポイント、「採算(経常利益)」は-14.2ポイント、「資金繰り」-1.7ポイントD I 値が低下した。

来期見通し(D I 値)では、「売上額」は上昇、「資金繰り」はやや低下すると予想している。

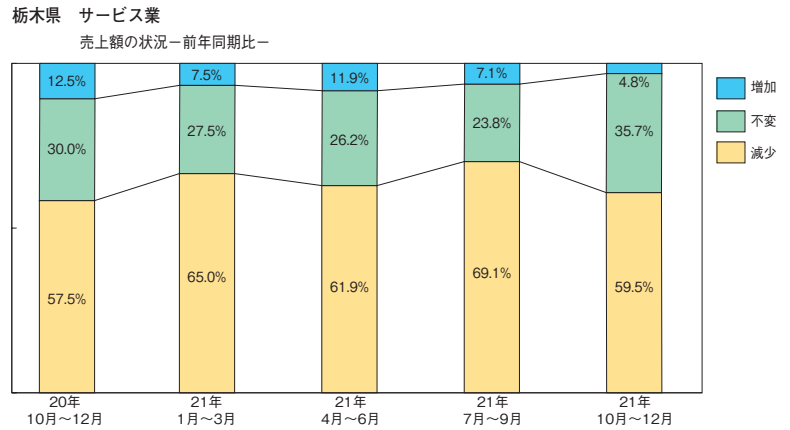
「仕入単価(材料等)」は-1.7ポイント低下し、来期見通しでは、さらに低下すると予想している。

## —売上額(収入高)—

売上額(収入高)の状況(前年同期比) 図19

今期D I値の内訳を見ると、減少企業が69.1%、増加企業が7.1%で、D I値は-62.0ポイントであった。前期と比べ、-12.0ポイント低下した。

来期の見通しは、売上減少と予想する企業が減り(69.1%→59.5%)、売上増加と予想する企業もやや減る(7.1%→4.8%)が、D I値はやや上昇(前期比+7.3ポイント)するとみている。

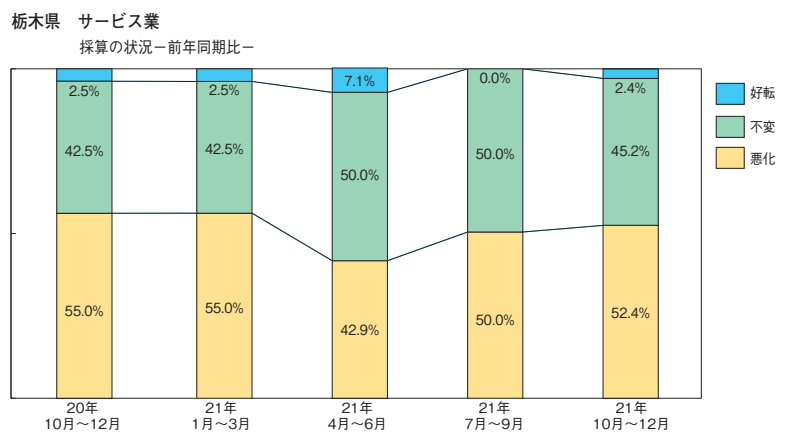


## —採算(経常利益)—

採算(経常利益)の状況(前年同期比) 図20

今期D I値の内訳を見ると、悪化企業が50.0%、好転企業が0.0%で、D I値は-50.0ポイントであった。前期と比べ、-14.2ポイント低下した。

来期の見通しは、採算悪化と予想する企業が増え(50.0%→52.4%)、好転と予想する企業も若干増え(0.0%→2.4%) D I値は同値とみている。

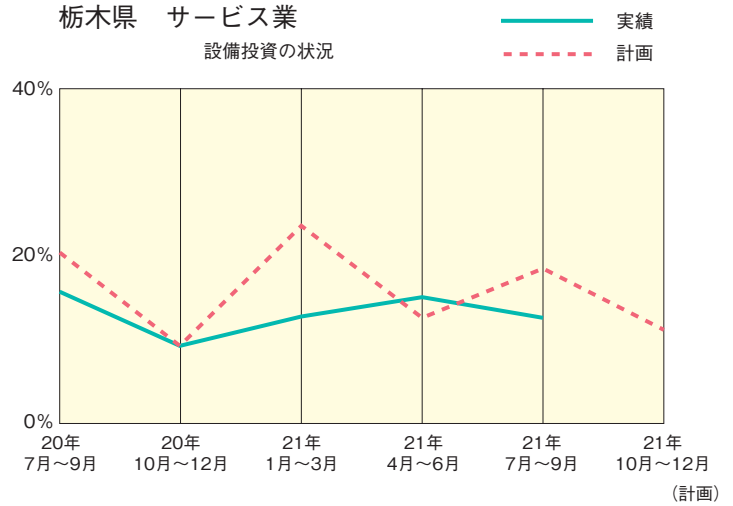


－設備投資の状況－

設備投資の状況 図21

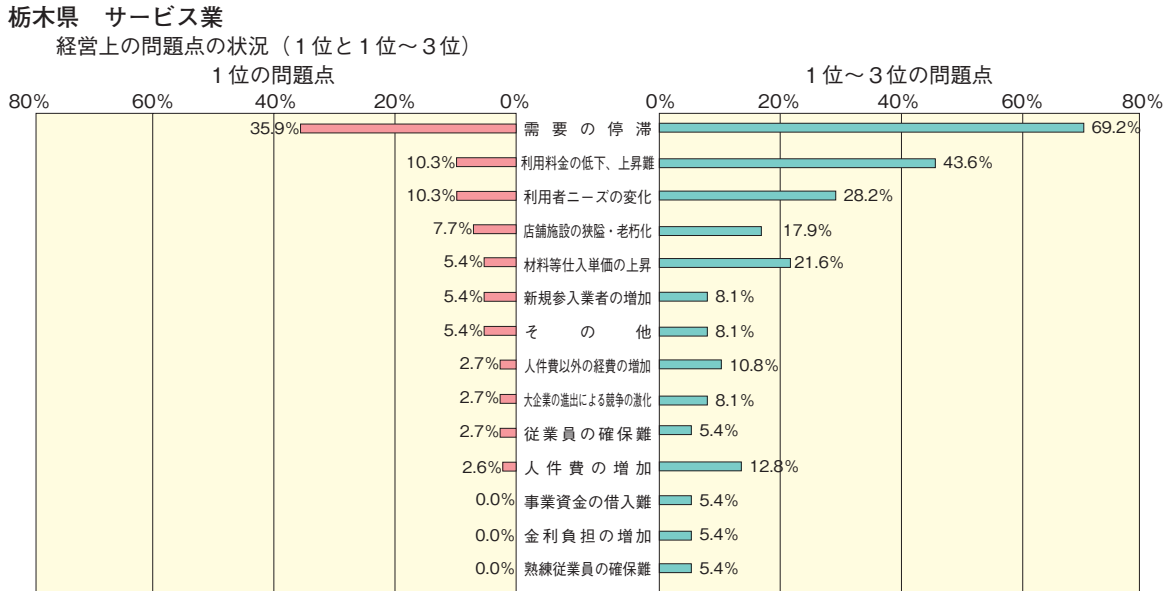
今期の設備投資の状況は、計画していた企業割合19.0%に対し、実績は11.9%であった。

来期に設備投資を計画している企業は11.9%である。



－経営上の問題点－

経営上の問題点の状況 図22



1位～3位の問題点を見ると、「需要の停滞」が最も多く、1位の問題点を見てもトップに挙げら35.9%となっている。そのほか「利用料金の低下、上昇難」「利用者ニーズの変化」が上位に挙げられている。

## 【調査対象事業所の内容】

### 〈製造業〉

#### 業種別内訳 34事業所

業種	事業所数	割合%
食料品製造業	5	14.7
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.9
繊維工業	1	2.9
衣服・その他繊維製品製造業	0	0.0
木材・木製品製造業	2	5.9
家具・装備品製造業	1	2.9
パルプ・紙・紙加工品製造業	0	0.0
印刷・同関連業	0	0.0
化学工業	0	0.0
プラスチック製品製造業	4	11.8
窯業・土石製品製造業	2	5.9
金属製品製造業	6	17.6
一般機械器具製造業	1	2.9
電機機械器具製造業	4	11.8
輸送用機械器具製造業	4	11.8
精密機械器具製造業	1	2.9
その他の製造業	2	5.9

#### 従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	8	23.5
3人以下～5人以下	8	23.5
6人以下～10人以下	4	11.8
11人以下～20人以下	8	23.5
21人以下～50人以下	3	8.8
51人以下～100人以下	2	5.9
101人以上	1	2.9

### 〈建設業〉

#### 業種別内訳 26事業所

業種	事業所数	割合%
総合工事業	14	53.8
職別工事業	7	26.9
設備工事業	5	19.2

#### 従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	8	30.8
3人以下～5人以下	9	34.6
6人以下～10人以下	4	15.4
11人以下～20人以下	5	19.2
21人以下～50人以下	0	0.0
51人以下～100人以下	0	0.0
101人以上	0	0.0

### 〈小売業〉

#### 業種別内訳 48事業所

業種	事業所数	割合%
各種商品小売業	3	6.2
織物・衣服・身の回り品小売業	8	16.7
飲食料品小売業	20	41.7
自動車・自転車小売業	2	4.2
家具・建具・じゅう器小売業	2	4.2
その他小売業	13	27.1

#### 従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	44	91.7
3人以下～5人以下	3	6.2
6人以下～10人以下	1	2.1
11人以下～20人以下	0	0.0
21人以上	0	0.0

### 〈サービス業〉

#### 業種別内訳 42事業所

業種	事業所数	割合%
一般飲食業（一般・遊興）	14	33.3
宿泊業	4	9.5
運輸業	3	7.1
自動車整備業	5	11.9
洗濯・理美容業	11	26.2
その他サービス業	5	11.9

#### 従業員規模別内訳

従業員数	事業所数	割合%
2人以下	33	78.6
3人以下～5人以下	4	9.5
6人以下～10人以下	3	7.1
11人以下～20人以下	1	2.4
21人以上	1	2.4



---

第 1 2 1 回中小企業景況調査報告書

---

平成 2 1 年 7 月～ 9 月期報告

平成 2 1 年 1 0 月～ 1 2 月期予想

平成 2 1 年 1 0 月発行

編集：栃木県商工会連合会 経営の見える課

発行所：栃木県商工会連合会 栃木県宇都宮市中央 3 丁目 1 番 4 号

TEL 028-637-3731 FAX 028-637-2875

印刷所：(株)松井ピ・テ・オ・印刷

---